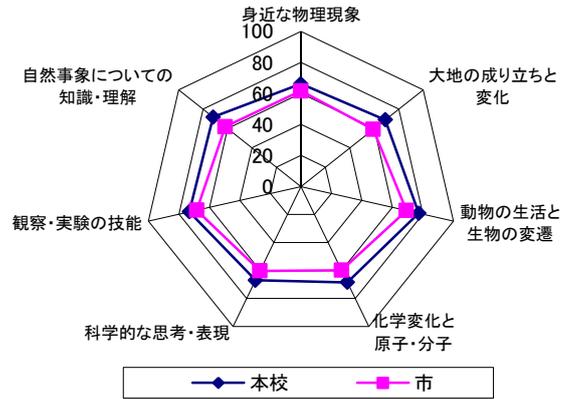


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	身近な物理現象	66.1	61.6
	大地の成り立ちと変化	69.0	59.1
	動物の生活と生物の変遷	77.3	69.2
	化学変化と原子・分子	68.5	59.8
観点別	科学的な思考・表現	67.0	60.3
	観察・実験の技能	73.1	68.3
	自然事象についての知識・理解	71.7	61.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
身近な物理現象	本校の正答率は市の正答率を4.5ポイント上回っている。1学年での既習内容である「光と音の性質」「力と圧力」からの出題であり、他領域と比べると上回るポイントは高い方ではない。特に、圧力を求める式を導く問題では、正答率が38.5%と低く、定着が十分だとはいえない。	光・音・力の物理現象は目に見えにくく、生徒には理解が難しい。苦手意識をなくし、理解させるために、実験や観察の時間を十分にとり、探究の過程を大切にしたい指導をしていきたい。また、3年で学習する「エネルギーの変換」につながるように、復習させたい。
大地の成り立ちと変化	本校の正答率は市の正答率を9.9ポイント上回っている。1学年での既習内容である「火山活動と火成岩」「地震」「地層の重なり」からの出題であり、他領域と比べると上回るポイントは高い。地震のゆれの伝わり方や、地層ができた当時のようすを推測するなど生徒が興味をもって取り組む内容が多く、この領域への関心が高い結果だと思われる。	大地の変動や地球内部の構造などを大きなスケールで捉えさせるために、効果的に映像資料を活用し、学習内容を定着させていきたい。また、地震や火山活動が起こるメカニズムを知り、防災への意識も高めていきたい。
動物の生活と生物の変遷	本校の正答率は市の正答率を8.1ポイント上回っている。特に、「動物の分類」や「生物の変遷と進化」に関する問題の正答率はすべて80%を超えている。生徒が興味をもって取り組める領域なので定着度が高かったのだと思われる。	3年で学習する「生命の連続性」につながっているので、系統だてて指導していきたい。動物の分類や特徴について探究したいテーマを一人ひとりが設定し、課題解決学習に取り組ませていきたい。
化学変化と原子・分子	本校の正答率は市の正答率を8.7ポイント上回っている。水素による酸化銅の還元を化学反応式で表す問題の正答率は46.2%であり、この領域の他の問題から比べると低かった。観点別の正答率はどの観点も市の正答率を上回っているが、実験・観察の技能は他の観点から比べるとやや低い。	この領域は、3年で学習する「イオン」につながっているので、系統立てた指導をしていきたい。実験・観察の技能に関する設問の正答率が低かったことから、化学実験の操作上の留意点とその理由を考えさせるとともに、技能の向上を図っていきたい。また、実験結果の考察を討論させ科学的な思考力を身につけさせたい。